

警告 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

- **安全のための注意事項を守る**
この「安全のために」の注意事項をよくお読みください。
- **故障したら使わない**
動作がおかしくなったり、ACパワーアダプターなどが破損しているのに気づいたら、すぐにテクニカルインフォメーションセンター、またはお買い上げ店、ソニーサービス窓口にご依頼ください。

テクニカルインフォメーションセンター、またはお買い上げ店、ソニーサービス窓口をお持ちになる際は、必ずヘッドホンとプロセッサーを一緒にお持ちください。

警告表示の意味

取扱説明書及び製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

危険 この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・漏液・発熱・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

警告 この表示の注意事項を守らないと、大けがなど人身事故の原因となります。

注意 この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

行為を禁止する記号



禁止

警告 下記の注意を守らないと、**火災・発熱・発火・感電**により**やけどや大けが**の原因となります。



運転中は使用しない

自動車の運転をしながらヘッドホンを使用したり、細かい操作をしたりすることは絶対におやめください。交通事故の原因となります。



禁止



注意 下記の注意を守らないと、**けが**をしたり周辺の**家財に損害**を与えたりすることがあります。

大音量で長時間つづけて聞きすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。呼びかけられて返事ができるくらいの音量で聞きましょう。



禁止



はじめからボリュームを上げすぎない

突然大きな音が出て耳をいためることがあります。ボリュームは徐々に上げましょう。とくに、MD、CDやDATなど、雑音の少ないデジタル機器を聞くときにはご注意ください。

かゆみなど違和感があつたら使わない

使用中、肌に合わないと感じたときは使用を中止して医師またはテクニカルインフォメーションセンター、またはお買い上げ店、ソニーサービス窓口にご相談ください。

電池についての安全上のご注意

液漏れ・破裂・発熱・発火による大けがや失明を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

危険 充電式電池について

- 付属の充電式電池を他の機器に使用しない。この電池はコードレスステレオヘッドホン専用です。
- 機器の表示に合わせて+と-を正しく入れる。
- MDR-DS8000に付属または推奨の充電器以外で充電しない。
- 火の中に入れない。分解、加熱しない。
- 火のそばや直射日光のあたるところ・炎天下の車中など、高温の場所で使用・保管・放置しない。
- コイン、キー、ネックレスなどの貴金属類と一緒に携帯・保管しない。ショートさせない。
- 外装のビニールチューブをはがしたり傷つけたりしない。
- 液漏れした電池は使わない。
- 指定された種類以外の充電式電池は使用しない。
- 使いきった電池は取りはずす。長時間使用しないときも取りはずす。

警告 乾電池について

- 機器の表示に合わせて+と-を正しく入れる。
- 充電しない。
- 火の中に入れない。分解、加熱しない。
- 火のそばや直射日光のあたるところ・炎天下の車中など、高温の場所で使用・保管・放置しない。
- コイン、キー、ネックレスなどの貴金属類と一緒に携帯・保管しない。ショートさせない。
- 外装のビニールチューブをはがしたり傷つけたりしない。
- 指定された種類以外の電池は使用しない。
- 液漏れした電池は使わない。

注意

- 使いきった電池は取りはずす。長時間使用しないときも取りはずす。
- 新しい電池と使用した電池、種類の違う電池を混ぜて使わない。

お願い

使用済み充電式電池は貴重な資源です。端子(金属部分)にテープを貼るなどの処理をして、充電式電池リサイクル協力店にご持参ください。

液もれが起こったときは、電池入れについた液をよくふき取ってから新しい電池を入れてください。

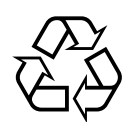
アルカリ電池の液が漏れたときは素手で液をさわらない

- アルカリ電池の液が目に入ったり、身体や衣服につくと、失明やけが、皮膚の炎症の原因となることがあります。そのときに異常がなくても、液の化学変化により、時間がたつてから症状が現れることがあります。

必ず次の処理をする

- 液が目に入ったときは、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。
- 液が身体や衣服についたときは、すぐにきれいな水で充分洗い流してください。皮膚の炎症やけがの症状があるときは、医師に相談してください。

日本国内での充電式電池の廃棄について



Ni-MH

充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店については
社団法人電池工業会ホームページ
<http://www.baj.or.jp/> を参照してください。

SONY

コードレスステレオヘッドホン

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

MDR-IF8000

Sony Corporation © 2001 Printed in Korea

主な特長

本機は、デジタル赤外線伝送方式を使用したデジタルサラウンドヘッドホンシステムMDR-DS8000用の増設ヘッドホンです。DVDプレーヤーやBSデジタルチューナーなどと、別売りのプロセッサーを、光デジタル接続ケーブルで接続するだけで、マルチチャンネルのサラウンド音場をヘッドホンで快適にお楽しみいただけます。

- 外来ノイズなどの影響を受けにくく、CD音質と同等のデジタル赤外線伝送を利用した、コードレスヘッドホン採用(非圧縮伝送)
- ヘッドホン部にヘッドトラッキングシステム搭載で、よりリアルな臨場感を再現
- ヘッドバンド調節不要のフリーアジャスト機構
- ヘッドホンをかけるだけで自動的に電源が入り、はずすと自動的に電源が切れる、オートパワーオン/オフ機能
- ヘッドホンの左右の音量を連動して調節できるVOLつまみ
- 電源は、付属または指定の充電式ニッケル水素電池、または別売りの単3形アルカリ乾電池の二通り。

別売りのプロセッサーが必要です

本機は単体ではご利用になれません。別売りのソニーデジタルサラウンドヘッドホンシステムMDR-DS8000と組み合わせてお使いください。

ご注意

CEマークは主にEEA(European Economic Area)各国など、法律に定められた国においてのみ有効です。

主な仕様

一般仕様	
変調方式	DQPSK
副搬送波周波数	4.5MHz
周波数特性	12 ~ 24,000Hz
電源	付属または推奨の充電式ニッケル水素電池または別売りの単3形アルカリ乾電池
質量	約350g(充電式電池含む)

付属品

充電式ニッケル水素電池 NH-AA (1600mAh min)(2)
取扱説明書(1)
ソニーご相談窓口のご案内(1)
保証書(1)

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

● <http://www.sony.co.jp/SonyDrive/>
お客様ご相談センター
● ナビダイヤル …… ☎0570-00-3311
(全国どこからでも市内通話料でご利用いただけます)
● 携帯電話・PHSでのご利用は 03-5448-3311
(ナビダイヤルがご利用できない場合はこちらをご利用ください)
● FAX …… 0466-31-2595
受付時間：月～金 9:00～20:00 土・日・祝日 9:00～17:00
お電話は自動音声応答にてお受けしています。

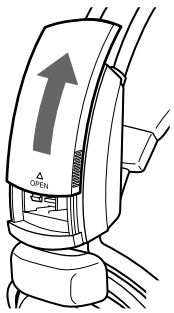
ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35

▶ 準備

ヘッドホンに電池を入れる

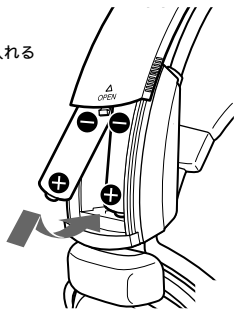
まず、付属の充電式ニッケル水素電池を、MDR-DS8000に付属の充電器で充電してください。詳しくは、MDR-DS8000の取扱説明書をご覧ください。

- 1 本体左側にある電池ふたを開ける。

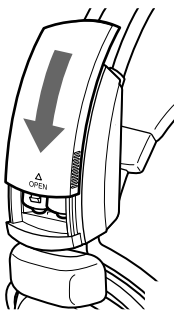


- 2 付属の充電式電池を入れる。

◎側から入れる



- 3 電池ふたを閉じる。



電池の持続時間

電池の種類	持続時間
ソニー単3形ニッケル水素電池 NH-AA (付属)	約7時間* (フル充電した場合)
ソニーアルカリ乾電池 LR6(SG) (別売り)	約7時間*

*周囲の温度や使用状態により、上記の持続時間と異なる場合があります。

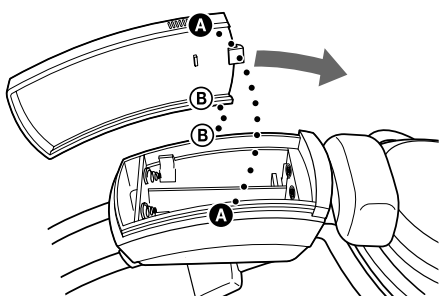
ご注意
本機にはマンガン電池はお使いになれません。

電池の交換時期

電池が消耗してくると、ヘッドホンの右側にあるPOWERランプが点滅して、ヘッドホンから「ピーッ、ピーッ、…」という音がします。その場合、充電式電池を充電するか、新しいアルカリ乾電池に交換してください。

電池ブタが外れた場合の取り付け方法

図のようにAとA、BとBを合わせて取り付けてください。

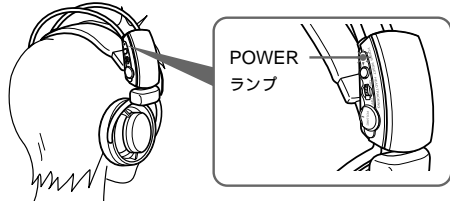


▶ 使いかた

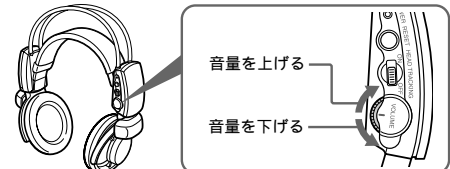
音声を聞く

MDR-DS8000の取扱説明書も併せてご覧ください。

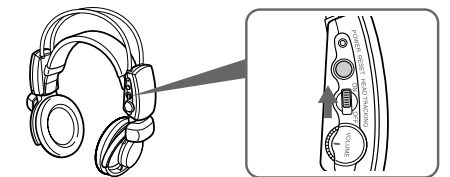
- 1 プロセッサに接続したAV機器の電源を入れる。
- 2 プロセッサの電源を入れる。
- 3 ヘッドホンをかける。
POWERランプが赤く点灯し、自動的に電源が入ります。



- 4 音量を調節する。



- 5 ヘッドトラッキング機能をONにする(プロセッサの出力モードを「VIRTUAL FRONT」または「VIRTUAL SURROUND」にした場合)



正面(例えばテレビなど)を向いて、HEAD TRACKINGスイッチをONにし、約2秒間じっとする。ヘッドトラッキングシステムが安定するまでは頭を動かさないでください。この間音声は出力されません。ヘッドトラッキングシステムが安定すると再生音が聞こえてきます。このあとは頭を動かしても横や後ろを向いても、正面方向から音が聞こえるようになります。

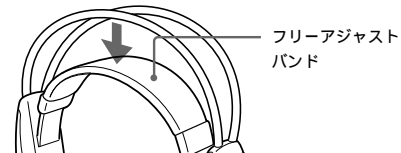
ご注意

- ヘッドトラッキング機能の安定動作のため、必ずヘッドホンを正しく(垂直に:手順3参照)装着してください。
- HEAD TRACKINGスイッチをONにするたび、また、ONの状態ヘッドホンをつけるたびに、新たにヘッドトラッキングシステムの安定化を行ないますので、その都度、約2秒間頭を動かさないでください。
- ヘッドホンから聞こえる音の正面方向と、実際の正面にズレがある場合は、正面を向いて、ヘッドホンのRESETボタンを押してください。

ヘッドホンをはずすと自動的に電源が切れます

— オートパワーオン/オフ機能

お使いにならないときは、プロセッサにかけるとしてフリーアジャストバンドが引き上げられた状態にならないようご注意ください。オートパワーオン機能が誤って働いてしまい、電池が消耗します。



電池の残りを確認するには

フリーアジャストバンドを引き、POWERランプが赤く点灯すれば使用できます。POWERランプが点滅して、ヘッドホンから「ピーッ、ピーッ、…」という音がしたら、充電式電池を充電するか、新しいアルカリ乾電池に取りかえてお使いください。

ヘッドホンから音声が聞こえないときは

赤外線が届く範囲から離れたり、赤外線がさえぎられたりして受信状態が悪くなると、自動的にミュート機能が働き、「ピッピッピッ…」というピーブ音が鳴ってヘッドホンから音声が聞こえなくなります。プロセッサに近づくと、赤外線がさえぎられないようにすれば、自動的にミュート状態は解除されます。

▶ その他

使用上のご注意

取り扱いについて

- 本機を落としたりぶつけたりなど強いショックを与えないでください。故障の原因となります。
- 本機を分解したり、開けたりしないでください。

次のような所には置かないでください

- 直射日光があたる所や暖房器具の近くなど温度が非常に高い所
- 風呂場など、湿気の多い所

ヘッドホンについて

まわりの人のことを考えて

ヘッドホンは、音量を上げすぎると音が外にもれます。音量を上げすぎて、まわりの人の迷惑にならないように気をつけましょう。雑音の多いところでは音量を上げてしまいがちですが、ヘッドホンで聞くときはいつも、呼びかけられて返事ができるくらいの音量を目安にしてください。

イヤークッションについて

イヤークッションは消耗品です。日常の使用や長期の保存により劣化しますので、破損したら交換してください。イヤークッションを交換する場合は、ソニーサービス窓口にご相談ください。

故障かな?と思ったら

修理にお出しになる前に、もう一度点検してください。それでも正確に動作しないときは、テクニカルインフォメーションセンター、またはお買い上げ店、ソニーサービス窓口、お客様ご相談センターにお問い合わせください。

音が出ない

- プロセッサとAV機器の接続を確認する。
- プロセッサにつないだAV機器の電源を入れ、演奏(再生)を始める。
- プロセッサとAV機器のヘッドホン端子をつないだときは、接続した機器の音量を上げる。
- ヘッドホンの音量を上げる。
- ヘッドホンの電池が完全に消耗している。フリーアジャストバンドを引き、POWERランプが点滅していたら、充電式電池は充電し、アルカリ乾電池は新しいものと交換する。それでもランプが点滅したままの場合は、テクニカルインフォメーションセンター、またはサービス窓口にお持ちください。
- ヘッドトラッキング機能がうまく働いていない。ヘッドホン装着時にHEAD TRACKINGスイッチをONにしたときや、ONの状態ヘッドホンを装着したときは、約2秒間頭を動かさないでください。それでも音が出ない場合には、ヘッドホンを1回外し、再び装着しなおしてください。

音がはずむ

- プロセッサとAV機器のヘッドホン端子をつないだときは、接続した機器の音量を下げる。

音が小さい

- プロセッサとAV機器のヘッドホン端子をつないだときは、接続したAV機器の音量を上げる。
- ヘッドホンの音量を上げる。

警告音が鳴る

「ピッピッピッ…」

- ヘッドホンがプロセッサからの赤外線を受信できない。
- プロセッサの電源を入れる。
- プロセッサとACパワーアダプター、電源コンセントの接続を確認する。
- プロセッサとヘッドホンの間に障害物がないか確認する。
- なるべくプロセッサの近くでヘッドホンを使用する。
- プロセッサの位置や角度を変える。
- ヘッドホンの赤外線受光部を手や髪でおおっていないか確認する。
- 直射日光の入る窓際で使っているときは、カーテンやブラインドを閉めて直射日光が当たらないようにする。または直射日光の当たらない場所で使う。
- プラズマディスプレイがヘッドホンの近くにある場合は、ヘッドホンから離す。

「ピーッ、ピーッ、ピーッ…」

- ヘッドホンの電池が消耗している。フリーアジャストバンドを引き、POWERランプが点滅していたら、充電式電池は充電し、アルカリ乾電池は新しいものと交換する。それでもランプが点滅し、警告音が鳴り続ける場合は、テクニカルインフォメーションセンターまたはサービス窓口にお持ちください。

ヘッドトラッキング機能の正面方向が実際と合わない

- 実際の正面方向を向いて、ヘッドホンのRESETボタンを押す。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合が悪いときは

テクニカルインフォメーションセンター、またはお買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。くわしくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではコードレスステレオヘッドホンの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、テクニカルインフォメーションセンター、またはお買い上げ店、サービス窓口にご相談ください。